

新病院建築ニュース

平成28年春開院

善衆会病院は、50年先を見据えた医療を提供していきます。その第1歩として、平成28年には新病院を新築オープンさせます。まずは、この先10年の変化に対応すべく、環境に配慮し、高度な医療設備をもとに、新たな地域の診療拠点としての重責を担います。



Vol.7 -2015.12.10 発行-

新病院における透析の役割

新病院の透析室は、個室を含め40床のベッド数でスタートします。透析日は従来通り、月・水・金曜日の午前と火・木・土曜日の午前、仕事をしている方に対応し月・水・金曜日の夜間（17時～）の3クールです。スタッフは、医師・看護師・臨床工学技士・看護助手・クラークで、医師を中心に意見交換や情報共有を行い、必要な時にはソーシャルワーカーや薬剤師、管理栄養士等の他職種と協力し、チーム医療を円滑に行える体制を整えます。また、各種透析用の患者監視装置を新しく導入します。

新病院に移転しても、透析治療の専門的な知識・技術を養い、質の高い透析治療を目指します。

【善衆会病院の透析室】

透析室は慢性腎不全患者の維持血液透析治療と、急性腎不全や他の疾患患者の各種血液浄化法（血漿交換療法・LDL吸着療法など）を行っています。

スタッフと患者さんとのコミュニケーションを大切にして、患者さんの立場に立つことを常に心がけ、医療機器の専門的知識を持つ臨床工学技士と連携し安心、安全な透析治療を行っています。

また、透析室として地域透析医療への貢献と他病院との連携を大切にして、患者さんの転院や転入を効率的にしています。



善衆会病院 透析室部長 林 潤一
透析室師長 松村 瑞江

新病院のデータ

[所在地]	前橋市筑井町 54-1
[階層]	地上6階立て
[病床数]	198床
[敷地面積]	18,270.82 m ²
[延床面積]	13,573.60 m ²
[駐車台数]	500台



新病院建築進捗状況

別棟・管理棟ともに鉄骨が組み上がりました。
本棟は6階まで立ち上がり、内部の施工、外壁のタイル工事を行っています。

新病院移転まであと半年となった11月、新病院建築準備室から全職員に向けて、これまでの工事の報告、内装デザイン案、今後のスケジュール等の詳しい説明を行いました。
また、定期的に職員対象の見学会を行い、内部の様子を確認しています。



← 11月19日現在の様子

↓ 建築準備室による新病院説明会



【職員対象の説明会と見学会を行いました】



1床室の見学中



配布された設計図を確認しながら本棟内部を見学



壁に貼られたスタッフステーションの内装予想図を確認中

新病院建設スケジュール

平成 26 年				平成 27 年								平成 28 年					
11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
準備・仮設工事		土工事		基礎躯体工事		埋戻	本館棟地上躯体工事						内装仕上げ工事		竣工		
着工							付属棟基礎				本館棟内装工事		各種検査				
							病室モデル	外装工事(タイル・吹付け・シーリング)				外構工事					